

第12回 福祉技術シンポジウム

主催／産業技術連携推進会議 医療福祉技術部分科会, (独)産業技術総合研究所

開催日時: 平成22年 **9月30日**(木) 10:30~17:00

開催場所: 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館11階 大会議室
(東京都江東区青海 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅徒歩4分)

参加費: 無料 (交流会 4,000円)

特別講演1: 中小企業庁の技術開発支援制度について

(11:40~12:10)

中小企業庁 経営支援部

創業・技術課長 **佐藤 文一氏**

特別講演2: 福祉機器開発研究の最前線

(13:30~14:30)

国立障害者リハビリテーションセンター研究所

福祉機器開発部長 **井上 剛伸氏**

一般講演: 8件

機器展示: 国際福祉機器展(東京ビッグサイト、9月29日~10月1日)にて関連開発品を出展中

参加申込: 参加者氏名、所属、住所、連絡先、交流会参加の有無を下記にご連絡下さい。

医療福祉技術分科会事務局

(独)産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門内

Tel:029-861-6718

E-mail:hfst-jimu@m.aist.go.jp

本シンポジウムの最新情報は、医療福祉技術分科会ホームページをご覧ください。

<http://sangiren-ifuku.org>



第12回福祉技術シンポジウム講演プログラム

●開会挨拶 10:30～10:40

産業技術連携推進会議 医療福祉技術分科会
赤松 幹之 分科会長（産業技術総合研究所）

●医療福祉技術分科会活動報告 10:40～10:50

医療福祉技術分科会 事務局

●一般発表1 10:50～11:30

- ・視覚障害者と音環境
- ・葬儀用和紙製義肢の開発

関 喜一（産業技術総合研究所）
半田 隆志（埼玉県産業技術総合センター）

●特別講演1 11:40～12:10

- ・中小企業庁の技術開発支援制度について

佐藤 文一（中小企業庁 経営支援部 創業・技術課長）

●昼食休憩 12:30～13:30

●特別講演2 13:30～14:30

- ・福祉機器開発研究の最前線

井上 剛伸
（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長）

●休 憩 14:30～14:40

●一般発表2 14:40～15:40

- ・上肢に障害のある人の生活を支援するロボットアーム RAPUDA の実用化に向けた取り組み

尹 祐根（産業技術総合研究所）

- ・センサ機器群による課題解決のための保育施設における活動へ向けて

森川 善富（産業技術総合研究所）

- ・障害者が自立して住みやすい住環境モデル

谷川 民生（産業技術総合研究所）

●コーヒーブレイク 15:40～16:00

●一般発表3 16:00～17:00

- ・アテトーゼ型脳性麻痺を対象とした描画支援システムの開発
- ・耐除細動試験装置の信頼性と規格適合性の検証
- ・高齢者・子供向け「自立補助具・リハビリ用具」の開発

宮川 成門（岐阜県生活技術研究所）
岡野 宏（東京都立産業技術研究センター）
多々良 哲也（静岡県工業技術研究所）

●交流会 17:30～19:30

タイム 24 11階 レストラン シーガル

●機器展示 平成 22 年 9 月 29 日～10 月 1 日

東京ビッグサイトで開催中の国際福祉機器展にて出展中

出展ブース:東5ホール, 5-08-05 「医療福祉技術分科会」

出展物:木製玩具「ゆらゆら積み木」他(青森県産業技術センター), ※自立支援補助具「Qシリーズ」(静岡県工業技術研究所),
※車椅子用床ずれ予防クッション(富山県工業技術センター), 葬儀用和紙製義肢(埼玉県産業技術総合センター),
障害者が自立して住みやすい住環境モデル(産業技術総合研究所) [※マークはワークショップでも発表予定]

ワークショップ:10月1日(金)13:30～14:30 東3ホール入り口左手 1-B 室

子ども広場:「Qシリーズ」出展予定